

教育ゆりほんじょう

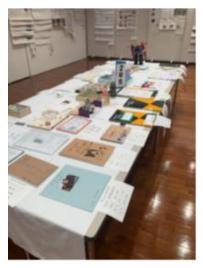
第 22 号 令和7年10月24日 由利本荘市教育委員会 学 校 教 育 課 教育支援センター

第53回科学作品展を終えて

9月20日(土)、21日(日)にカダーレギャラリーにおいて、由利本荘市児童生徒科学作品展を開催しました。夏休みの自由研究などを展示するこの作品展は、今年53回目となりました。理科研究発表会とともに本市が古くから理科教育に力を注ぎ、児童生徒の自然や科学への興味・関心を高め、探究する力を育成してきたことが地域の伝統となり、教育力となっていることに敬意を表します。

今年は、市内13小学校から271作品、3中学校から8作品の合計279作品の出品がありました。児童生徒数が大きく減少している昨今ですが、全体の出品数は昨年度とほぼ変わらず、小学校ではむしろ増加したということを大変うれしく思います。また内容も、夏休みの長い期間をかけて地道に根気強く取り組んだり、同じテーマについて長年継続して研究を積み重ねたりした質の高い作品も多く見られました。

審査会では、34作品を優秀賞、60作品を優良賞に選出し、受賞者には学校を通じて賞状を贈っています。これを機会に、さらに自然や科学への興味・関心が高まり、自然に親しもうとする意欲が向上していくことを期待しています。また、今回入賞しなかった作品にも、それぞれ苦労や努力のあとが見られた作品が多くありました。是非、各学校の先



生方や保護者の皆様には一人一人のがんばりを称え、評価してあげてほしいと思います。

今回出品された作品の約8割は、観察・実験をもとにした研究でした。自分の身の回りの自然や日常生活から見つけた課題や疑問を解決したいという思いからスタートし、解決のための予想や仮説を立て、検証計画を立案して解決に取り組むという理科研究の流れを踏まえ科学的にまとめられた作品が多くありました。低学年でもこの流れに沿ったものも見られ、これまでの研究や授業などでの問題解決的な学習の実践で、自ら学ぶ力が確実に身に付いてきているように感じますし、このような手法や追究の過程は理科だけでなく、いろいろな教科や分野での学びの基礎になっていくものと思います。

近年ICTの普及により、いろいろなことが簡単に調べられるようになりました。理科研究でもインターネットや生成AIが使われるようになってきました。しかしながら、これらの情報はすべてが正しいとは限りません。決して鵜呑みにせず、情報の一つととらえ、それをもとに自分なりに検証したり、自分の知っていることや身の回りの状況と照らし合わせたりしながら慎重に活用してほしいと思います。一番信頼できるのは、自分で体験したことや自分の頭で考えたことですので、それを大事にして理科と接してほしいと思います。



作品の制作にご協力いただきました保護者の皆様、各学校の先生方に深く感謝いたします。

鳥海小学校の実践に学ぶ

9月2日(火)、「ICTを活用した授業力向上事業」モデル校の鳥海小学校を訪問し、5年算数の特定授業と、一巡という形で全学級の授業を参観させていただきました。鳥海小学校では昨年度から MetaMoJi ClassRoom を試行的に活用してきましたので、授業の様々な過程で無理のない形でかつ効果的に取り入れ、子どもたちもタブレット端末をスムーズに操作しているように見受けられました。

9月から同ソフトが市内全校に導入され、各校でも活用の工夫が図られているでしょう。以下に鳥海 小学校の活用例を簡単に紹介します。

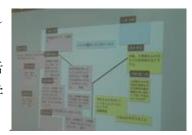
(参考: 『令和6・7年度学校改善支援プラン』 ICT の効果的な活用)

新師による教材の提示



左はプリントを撮影した物をノートにして配付し、全体に説明しています。

右は振り返りの場面で、Yチャートを活用して視点ごとに分類し、全員の本時の学びを共有しています。



に応じる学習



左は1年生の児童です。マス目を自分 の書きやすい大きさにピンチアウトし、 指で文字を書き込んでいます。

右は道徳で、メタモジ「ハートメータ 一」を使用して気持ちを表しています。



つを深める学習



デジタル教科書を使用してどんぐりに ブロックを重ねて数を数えたり、教科書 のQRコードを読み取って図形で補助線 を引いて角度を求めたり、繰り返し試行 しています。作業が簡単で効率的です。

光表や話合.



左は考えをまとめた自分のノートを 撮影して電子黒板に投影しています。 右はタブレット端末に考えを表示し て、お互いの考えを伝え合っています。



協働での意見整理





モニタリング機能で2間解決は赤枠、1間解 決は青枠というように進度によって表示してい ます。発表者の考えを可視化して共有すると、 聞き手にとって分かりやすくなります。